

現行計画の構成からの変更点について

大項目		中項目	小項目
第1編 総論	第1章 計画の基本的な考え方		1 計画作成の趣旨、2 計画見直しの要点 3 計画の位置付け、4 計画の期間 5 計画の基本方針、6 計画の推進 7 その他(計画のスタイル) 8 前青森県保健医療計画の評価
	第2章 本県の保健医療の概況		1 人口等の概況、2 保健医療体制の概況 3 医療機能の概況、4 患者の受療状況 5 県民の意識
	第3章 保健医療圏の設定と基準病床数		1 保健医療圏の設定 2 基準病床数
第2編 各論	第1章 <del>質の高い保健・医療・福祉サービス提供のための取組</del> (削除)	第1節 <del>機能分担と連携による体系的な医療体制の整備</del> (削除)	<del>1 プライマリ・ケアの普及・充実</del> (移動) <del>2 二次医療の確保・充実</del> (削除) <del>3 三次医療の確保・充実</del> (削除) <del>4 自治体病院の機能再編成</del> (削除) <del>5 県立病院</del> (削除) <del>6 公的な医療機関</del> (削除) <del>7 多様な役割分担・連携の推進</del> (移動)
		第2節 <del>保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進</del> (削除)	<del>1 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進</del> (移動) <del>2 地域連携パスの普及</del> (削除) <del>3 地域リハビリテーション支援体制の整備</del> (削除)
		第3節 <del>保健医療福祉拠点機能の充実・強化</del> (移動)	<del>1 保健所の機能充実・強化</del> (移動) <del>2 市町村における機能の充実・強化</del> (移動)
		第4節 <del>保健・医療・福祉の情報提供の推進</del> (移動)	<del>1 医療機能に関する情報提供</del> (移動) <del>2 疾病事業ごとの各医療機能を担う医療機関の情報</del> (移動) <del>3 保健・医療・福祉の情報共有</del> (移動) <del>4 医療提供施設における情報の電子化</del> (移動)
		第12節 <del>多様な役割分担・連携の推進</del>	
	第1章 医療連携体制の構築等	第1節 がん対策	1 歯科保健対策、歯科医療対策
		第2節 脳卒中对策	1 感染症対策
		第3節 心筋梗塞等の心血管疾患対策	2 結核 <del>予防</del> 対策
		第4節 糖尿病対策	3 エイズ・性感染症対策
		第5節 精神疾患対策	<del>4 感染症等医療対策</del> (感染症・結核・エイズ) (削除)
		第6節 救急医療対策	4 肝炎対策
		第7節 災害医療対策	5 難病対策
		第8節 周産期医療対策	6 アレルギー疾患対策
		第9節 小児医療対策 (小児救急を含む)	7 高齢化に伴い今後増加する疾患等対策
		第10節 へき地医療対策	<del>8 その他の保健医療対策</del>
		第11節 在宅医療対策	8 <del>(1)</del> 臓器移植及び造血細胞移植 9 <del>(2)</del> 血液確保対策
		第12節 <del>多様な役割分担・連携の推進</del>	
		第13節 歯科対策	
		第14節 その他の保健医療対策	
	第2章 地域医療構想	第1節 基本的な考え方	1 地域医療構想策定の趣旨 2 地域医療構想の位置づけ 3 地域医療構想の期間 4 地域医療構想の推進 5 進行管理
		第2節 本県の概況	1 人口等の将来推計 2 医療提供体制 3 医療従事者の状況 4 拠点病院等の状況 5 自治体病院の状況 6 在宅医療の状況 7 介護サービスの状況 8 患者の受療動向
		第3節 構想区域	1 構想区域 2 構想区域の設定
		第4節 平成37年の医療需要と必要病床数	1 推計の方法 2 推計の考え方 3 平成37年における医療機能ごとの病床数の必要量 4 平成37年における居宅等における医療の必要量 5 病床機能報告と必要病床数の比較
		第5節 地域医療構想を実現するための施策	1 施策の体系 2 現状・課題及び施策の方向
		第6節 各構想区域の状況	1 津軽地域 2 八戸地域 3 青森地域 4 西北五地域 5 上十三地域 6 下北地域
	第3章 保健・医療・福祉を担う人材の養成確保と資質の向上	第1節 医師	
		第2節 医師以外の保健医療従事者	1 歯科医師 2 薬剤師 3 保健師、看護師等 4 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 5 管理栄養士、栄養士 6 介護サービス従事者 7 その他の保健医療従事者
	第4章 信頼される保健医療サービスの構築 医療安全の確保と健康危機管理体制の構築	第1節 医療安全対策	1 医療サービスの質の向上 2 医療安全に向けた取組みの推進 3 院内感染防止に向けた取組みの推進
		第2節 健康危機管理体制の構築	1 健康危機管理対策 2 医薬品等の安全確保対策 3 薬物乱用防止対策 4 緊急被ばく医療対策
		第3節 保健・医療・福祉の情報提供の推進	1 医療機能に関する情報提供 2 疾病事業ごとの各医療機能を担う医療機関の情報 3 保健・医療・福祉の情報共有 4 医療提供施設における情報の電子化
	第5章 その他健康づくりをはじめとする保健福祉対策と青森県型地域共生社会の実現 健康づくりと保健福祉対策	第1節 健康づくり運動の推進	
		第2節 母子保健の推進	
		第3節 成人・高齢者保健福祉対策	<del>1 精神保健福祉センターの充実・強化</del> (移動)
		第4節 障害保健福祉対策	1 障害保健福祉対策 2 医療的ケア児への取組
		第5節 保健医療福祉拠点機能の充実・強化	1 保健所の機能充実・強化 2 精神保健福祉センターの充実・強化 3 市町村における機能の充実・強化
		第6節 青森県型地域共生社会の実現	1 保健・医療・福祉包括システムの構築の推進 2 保健・医療・福祉包括システムの構築の深化
第3編 地域編			1 津軽地域 2 八戸地域 3 青森地域、 4 西北五地域 5 上十三地域 6 下北地域



見直し内容の主なもの
①「地域医療構想」が加わることから、これと競合する第1節「機能分担と連携による体系的な医療体制の整備」を廃止。
②第2節から、医療機関に定着しつつある「地域連携パスの普及」、整備事業を廃止した「地域リハビリテーション支援体制の整備」を削除し、第2節「保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進」を廃止。
③国の構築指針の見直しに伴い、「急性心筋梗塞対策」を「心筋梗塞等の心血管疾患対策」に修正。
④廃止する第1章「質の高い保健・医療・福祉サービス提供のための取組」から、「プライマリ・ケアの普及・充実」、「多様な役割分担・連携の推進」を移動し、「多様な役割分担・連携」に集約。
⑤国の構築指針に追記された「アレルギー疾患対策」、「今後高齢化に伴い増加する疾患等対策」を項目に追加。
⑥今回の構築指針から追記され、現行計画では分冊としている「地域医療構想」を第2章として追記。  【地域医療構想は2025年を目標に置き、それ自体完結型の計画として策定しているため、基本的に他の章との関係性からの修正は想定していない。 一方で、第1編第2章「本県の保健医療の概要」と、「地域医療構想」の第2節「本県の概況」は重なる部分がありながら、策定年度の違いにより、データが異なるため、できるだけ計画をみる者が混乱しないよう、第1編と第2編第2章は連続させず、間に第1章「医療連携体制の構築等」を置く。】
⑦国の作成指針では、医療従事者の確保に向けた取組をこれまで以上に重要視していることから、章の位置を第5章から第3章に格上げ。
⑧旧第1章「質の高い保健・医療・福祉サービス提供の取組」の廃止に伴い、第4章に「保健・医療・福祉の状況提供の推進」を第3節として移動。 第3節に「保健・医療・福祉の状況提供の推進」が加わることにより、第4章の名称を「医療安全の確保と健康危機管理体制の構築」から「信頼される保健医療サービスの構築」に変更。
⑨第1章から「保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進」を第2編の最終位置へ移動し、その深化ともいえる「青森県型地域共生社会の実現」に変えて閉めとする。これにより、第4章の名称を「その他健康づくりをはじめとする保健福祉対策と青森県型地域共生社会の実現」に変更。
⑩二次医療圏単位の状況、取組を表すため、新たに第三編「地域編」を追加。